

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいさい わかば		
○保護者評価実施期間	令和7年12月9日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 31人
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和7年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 15人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子療育を行っていること。	保護者に寄り添い、こどもとの関わり方をともに考えていく姿勢で支援に努めています。保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係が築けるように努めています。	個別支援計画の目標達成に向け、職員も保護者も共通の理解をもってこどもと接することができるよう積極的にコミュニケーションを図っていきます。
2	保護者の交流の場があること。	月1回保護者の情報交換の場所を提供しています。研修会開催の援助も行っています。保護者の会に参加し、保護者の知りたい内容を収集しています。	保護者の情報交換には、母親が参加している。母親以外の保護者やきょうだいにも交流の場を広げられるよう努めます。
3	保育所等訪問支援事業所との多機能事業所であること。	児童発達支援担当職員と保育所等訪問支援担当職員で情報を共有し、双方の支援に生かすようにしている。	保育所等訪問支援を十分活用できるよう、必要な時期に案内を行えるよう努めます。また、保育所等訪問支援を通して、地域の支援者との関係づくりが行えるよう、情報収集や支援の質の向上に取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者への情報伝達が不十分である。	情報発信の手段が療育室への設置、施設への掲示、紙のおたよりが主となっていること。 情報が提供されていること(場所)が伝わっていないこと。	連絡システムを導入し、積極的な情報発信に努めます。
2	公立であるため、毎年人事異動があり、円滑な支援の提供に支障をきたす可能性がある。	利用者、訪問先の職員とのよい関係が重要である職種であるため、人事異動により職員が交代するとその関係づくりから始めなければならない。関係を築くことにはある程度の期間が必要である。マニュアルがあれば引継ぎが行えるものではないため、安定した支援を提供することに難しさを感じている。	異動に備え、事務マニュアルの作成、ファイルなどの整理整頓に努めます。 従事する職員それぞれがプロ意識を持って、知識や経験を積むことを心掛けます。
3			